

平成28年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)  
分担研究報告書

「地震、津波、洪水、土砂災害、噴火災害等の各災害に対応した BCP 及び  
病院避難計画策定に関する研究」

分担研究

「BCP の考え方に基づいた災害対応マニュアルについての研究」

研究分担者 堀内 義仁 (横浜市立市民病院 科長)

研究要旨

事業継続計画(Business Continuity Plan 以下 BCP)の概念は、元来企業や工場がトラブルに陥った際に被害を最小限に食い止め、効率的に元の状態に復旧させるための計画であり、病院における BCP(病院 BCP)とは性質を異にする内容も多いため、病院 BCP として盛り込むべき内容を規定し、質を担保してゆく必要がある。本研究では、各病院が自律的に病院 BCP を作成できることを援助する目的に、「病院 BCP(災害拠点病院用)」と「病院 BCP を策定するための手引き」を呈示した。これらの資料は各施設の置かれた環境・諸条件によって、取捨選択し、また内容を変更してゆけば、その施設での病院 BCP が出来上がることをイメージしている。本資料が多く活用され病院 BCP 整備に寄与することを望む。

A. 研究目的

BCP の概念は、元来企業や工場がトラブルに陥った際に被害を最小限に食い止め、効率的に元の状態に復旧させるための計画であり、病院における BCP(病院 BCP)とは性質を異にする内容も多いため、病院 BCP として盛り込むべき内容を規定し、質を担保してゆく必要がある。われわれはこれまでに厚生労働科学研究において平成 24 年に「BCP の考え方に基づいた病院災害対応計画作成の手引き」「BCP チェックリスト」(平成 24 年度厚生労働科学研究「東日本大震災における疾病構造と死因に関する研究」(代表者:小井土 雄一))を作成してきた。さらに、本研究では、全国の災害拠点病院を対象として、より具体的な内容に踏み込み、改めて作成のためのノウハウを含めた手引きを作成するとともに、実際に手引きに基づいた災害拠点病院向けの病院 BCP のひな形を呈示することで、各災害拠点病院での

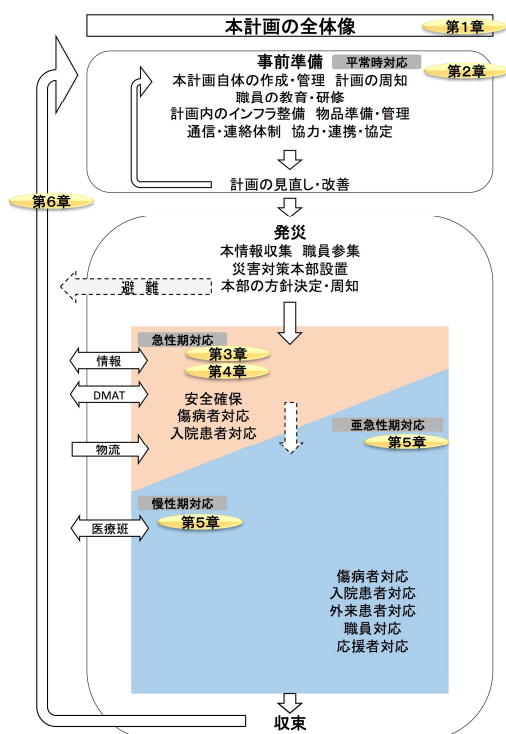
BCP 策定・見直しに役立てていただき、結果として、早急にすべての災害拠点病院で一定の質が担保された計画の策定できることに貢献することを目的としている。

B. 研究方法

国立病院機構災害医療センターで病院計画を研究して来た経験を活用し、「病院 BCP(災害拠点病院用)」と「病院 BCP を策定するための手引き」を作成し、分担研究者や研究協力者の意見を統括し、呈示した。

C. 研究結果

1)「病院 BCP(災害拠点病院用)」を呈示した。  
BCP の全体像を図に示した(資料1)。



資料1 病院 BCP の全体像

「病院 BCP を策定するための手引き」を呈示した。

施設の置かれた環境・諸条件によって、取捨選択し、また内容を変更してゆけば、その施設での BCP が出来上がることをイメージしている。以下がその概要である。

#### 【作成・管理のためのステップ】

(BCP を誰がどう作り、どう管理するのか)

#### 1. BCP 作成のための組織

作成の方針を立て、作成に必要な作業を整理して分担し作業を行い、それを合わせたものを評価して、決定するためには、「委員会」や「部会」などの組織が不可欠である。

#### 2. 組織のメンバー構成

この組織には BCP 全体のイメージを掌握し、会を取り仕切る少人数(一人から数名)を中心として、作業を分掌するのがよい。分掌された作業を遂行するためその内容に詳しい人材が担当する必要があるため、医療関係、地域や

施設における種々の規定、物品関係、施設・設備関係、通信関係などに詳しい担当者を種々の職種から選ぶ必要がある。

#### 3. 成果の評価・決定

完成分の評価のために進捗に合わせて定期的会合を開く必要がある。成果物の最終決定は病院の最高責任者によって決裁される。

#### 4. BCP の周知

BCP は職員全体に共有され、理解されることが必要である。

#### 5. BCP の管理(点検・見直し・改善)

作成された BCP は定期的に、あるいは状況の変化にあわせ、繰り返し見直しが行われ現状に合ったものでなければならない。

#### 【全体構成(章立て)のための前提】

まず、BCP がどのような災害を対象として、院内外のどのような範囲に適応させるのかを明確にする必要がある。次に、盛り込む内容は、時系列(時間軸・タイムライン)、に合わせて計画、準備、行動に分類する必要がある。この分類をまとめたものが「章立て」の基軸となる。

BCP を作成するにあたり、まずは自院がどのような地理的・立地条件にあり、どのような災害が想定されるのか、そして地域に対してどのような社会的責任を求められているのかを分析して明確にする必要がある。災害の中でも地震は日本全国どこでも発生する災害であり、全ての病院の BCP の基本となる。BCP の目的であるが、これも自院の病院としての機能を維持して、あるいは可及的に速やかに回復して自院の入院患者のみならず、周辺地域の、あるいは災害拠点病院であれば遠隔からの被災患者の受入れやコントロールを行うことであろうし、その機能継続期間を災害急性期から亜急性期、そして慢性期へ継ぎ目なく移行できるよう十分長期に継続できるように準備しておくことにある。

#### D. 考察

病院 BCP の考え方自体には計画・準備、実行、改善のプロセス(いわゆる PDCA サイクル)と、このプロセスを継続的に進めるための決定・実行のための組織での活動も含まれている。災害時に設置される「災害対策本部」の活動は病院 BCP 全体の中では、実行の部分に不可欠ではあるものの、一部分であることをまずは認識いただきたい。むしろ大切なのは、病院 BCP 全体を遂行するための平時からの院内の組織と運用体制であり、平常時からの具体的な活動内容としては、災害対応に必要な大局的な計画から細部にわたる部分的な計画を立案し、その計画に則って組織の体制を構築し、必要物品・スペースなどを確保・維持管理し、必要な人員を教育・訓練してゆけるものでなければならない、これら全体を含めたものが BCP である。地震などの広域災害への対応は、病院単独では困難であり、関連する諸組織との事前の申し合わせ・協力体制に関しての地域に即した形でルール等を盛り込むことも必要な要素として含まれる。

病院 BCP に必要な多くの要素をチェックする目的で、われわれはチェック項目リストを作成してきた。これを、病院 BCP 全体の作成や見直しに役立てていただければと思う。さらに、具体的な個々の計画を進めれば、必ず多くの細かな取り決めごと(ルール)の必要性が生じてくる。これらの運用に必要な事項は、本体部分を部分改訂するとともに種々の資料(マニュアル、アクションカード、物品リスト、帳票類など)として整理されることになる。

本研究で呈示した、「病院 BCP(災害拠点病院用)」「病院 BCP を策定するための手引き」をたたき台として、施設の置かれた環境・諸条件によって、取捨選択し、また内容を変更してゆけば、その施設での病院 BCP が出来上がる

ことをイメージしている。各災害拠点病院で活用していただければ幸いである。

本年度の分担研究では津波災害や山崩れなどの特殊な災害毎の計画についてはあえて触れず、大災害時の基本となる最小公倍数としての直下型の地震災害に対する病院 BCP を取り上げた。今後、震災以外の災害に対する BCP についても検討を要する。さらに災害拠点病院以外の病院、医院が災害に対して脆弱である可能性が高いことが本分担研究者の山内医師により東日本大震災より指摘されているが、一般病院、医院に対しての BCP も不可欠ではあるが、本年度は触れず今後の研究課題としたい。

#### E. 結語

各病院が自律的に病院 BCP を作成できることを援助する目的に、「病院 BCP(災害拠点病院用)」と「病院 BCP を策定するための手引き」を呈示した。これらの資料は各施設の置かれた環境・諸条件によって、取捨選択し、また内容を変更してゆけば、その施設での病院 BCP が出来上がることをイメージしている。本資料が多く活用され病院 BCP 整備に寄与することを望む。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

堀内義仁：緊急地震速報システムによる減災と病院機能の維持．日本集団災害医学会誌，15(2)：225-230，2010．

堀内義仁，小井土雄一：新しい防災の考え方と病院のBCP．災害医療・集団災害管理に求められる医療設備・病院設備，52(5)：23-27，2010．

堀内義仁，小井土雄一：災害に強い病院づくり．国立医療雑誌「医療」，64(10)：700-703，2010．

堀内義仁・医療機関における「BCP マニュアル」

作成の基本・Japanese Journal of Disaster  
Medicine , 20:179-183, 2015 .

## 2. 学会発表

本間正人, 堀内義仁, 近藤久禎, 大友康裕, 森  
野一真, 阿南英明, 中山伸一: 「BCP の基づい  
た災害計画作成の手引き」作成の現状と課題. .  
第 16 回日本臨床救急医学会総会, 東京,  
2013 .

堀内義仁: 医療機関における「BCP マニュアル」  
作成の基本. 第 19 回日本集団災害医学会総  
会・学術大会, 東京, 2014.

## G . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし